



## じゃがいものおうち通信

2002年7月7日  
NO.32

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

「じゃがいものおうち」 〒891-4404 屋久町尾之間136-6  
TEL/FAX 09974-7-3588

発行責任者 松田 正



## 障害児・者の将来



この前の通信からずいぶん時間がたってしまいました。私の力不足と反省しています。今日は“じゃがいものおうち”の本来の仕事(?)について考えてみたいと思います。障害を持った我が子、学校に行っている間はまだいいけどその後どうしようか?島には作業所もないし施設もないし……。

基本的にはその子が主体性を持って自分の生き方を決めていくことが大切だと思っています。そのため作業所が必要ななら作業所を、福祉ホームが必要ななら福祉ホームを造っていくのが“じゃがいものおうち”の仕事だと思っています。法人化というのもそのための一つの方法です。学齢期前の子どもたちにとっては療育が欠かせません。

今機会あるごとに、障害児・者の将来について話し合いを重ねています。ぜひ参加して屋久島にあった福祉を作り上げることに力を貸してください。今回はその第一歩、療育の特集号です。 (松田)

### 今一度「療育」とは

子供たちの全面発達を保障し、伸びる芽を伸ばす事は、障害が有ろうと、無かろうと同じです。発達の可能性を伸ばすため、その子その子に合ったペースで遊びや音楽を通して、専門的な指導を受けながら、丁寧に関わって行く、それが療育です。障害児にとっては、療育とは注意深い子育てです。どの子どもどの家族も生き生きと幸せでいる地域社会の構成員である為に、今、療育の場はここ屋久島に必要なのです。

療育の場作り、これまでの経過報告を致します。

- 2001年 1月30日 療育に関する意見交換会が、両町福祉課、保健婦、保健所、県福祉、親の会が集まり行われる。屋久町が実施主体、尾之間診療所が受託先で平成14年10月より心身障害児通園事業をすと確約される。
- 2月 19日 「子ども療育センター」の大迫より子先生、父母の会の立石まき子先生をお迎えし、「療育のつどい」を行う。各関係機関の方々に療育の実際を見て頂く事と先生達の講演と意見交換をする。
- 2002年2月 療育の指導員探しが始まる。
- 2月26日 第3回 療育親の会。  
親の会としても療育の事をもっと世間にアピールしようと言うことで、各校区のPTA行事を利用して療育の必要性を語ろうと言うことになる。
- 3月 5日 定例で火曜の午後、療育の会を開く事になる。  
10月の事業開始に向け準備の話しをしよう。
- 3月26日 保健所との話し合い。  
親子ふれあい広場での経験を聞く、(担当保健婦定期異動の為)今後も連携をし、連絡を取り合う事を約束する。
- 3月 指導員2名決定する。
- 4月 屋久町より準備段階における、指導員の研修費等の補助金が決定する。
- 4月22日～23日 指導員2名「子ども療育センター」へ研修へ行く。
- 5月25日 第4回療育親の会。  
これまでの進行報告と、今後の予定を話す。  
夏休み頃、そろそろ練習的に療育の実践をやってみよう。
- 6月 17日～20日 宮崎県都城市「ひかり園」へ指導員2名研修に行く。
- 23日 療育に必要な子供達のイスを、じゃがいものおうちのメンバ-と親の会の人達と共同で作る。



## 療育親の会



私たちの4歳になる二女は、大病を患い二度もの大手術を経験しました。見た目普通の子供と全く変わらず幼稚園に通っています。しかし後遺障害として言葉や運動機能などの不安が残ります。これらを「ハンデ」とするのなら何とか克服するために様々な方法を模索しなければなりません。数ヶ月に一度定期検診 理学療法 作業療法などリハビリのため保健所や鹿児島市内の病院に通うことになりました。

そこでかねてから病気について相談していた保健所より「療育」という言葉を教えて頂きこ屋久島において療育の場を作ろうと活動があることを知りました。何かしら障害を持つ子どもにはリハビリ等も重要ですが、人とのふれあいの中で自立を得ることが何よりも大切だと私は考えます。そして親の為にもいろいろな疑問や不安を相談でき勉強する場が必要だと思えます。

時々私は二女を見るとき病院の先生が仰った言葉を思い出します。障害を持った子供でもその障害を補う能力 克服する可能性がある

その為に私たちは、親として努力を惜しみません。誰もが同じ考えだと思えます。ぜひとも皆様のご理解とご協力をいただきたいと願います。子供達の将来のために。  
(村中信一)



## 研修に行ってきました



この秋から屋久島で、心身障害児小規模通園事業（療育事業）がスタートします。その療育の実践を学ぶために、私は保育士の佐々木真由さんと二人で、「鹿児島子ども療育センター」（4月21-23日）、「都城子ども療育センターひかり園」（6月17-20日）へ研修に行きました。どちらも短い期間でしたが、両方の園ともこころよく、とても暖かく受け入れてくださり、感謝して帰ってきました。

研修を受けて、まず感銘をつけたのは、園内の皆さんが、とても元気で明るいことでした。そして、先生方と親御さんが協力し合って、子どもたちの成長の手助けをととても丁寧に行っているということです。

また療育の事業が、ボランティアの方々の活動に助けられているということも実感しました。ひかり園では、研修二日目の朝、園に着いたら、20名くらいの人々が園庭の掃除をしていました。あわてて私たちが

手伝おうとおもったのですが、話を聞くと、地元のビデオショップの従業員の方々が、ボランティアで除草

などの作業をしてくださっているとの事でした。みるみるうちに園庭はきれいになっていきました。

ひかり園で出会った親御さんの一人は、こんなことをおっしゃいました。「私は、鹿児島の財部町に住んでいるんですよ。財部には療育の場がなく、ここ宮崎のひかり園に通っているんですが、そうですか...。鹿児島の療育事業22ヶ所目は、屋久島に行っちゃったんですね。」私は思わず「ごめんなさい」と謝ってしまいました。屋久島に療育の場ができるようにくださった屋久町に感謝しないといけないなと思いました。

両方の園とも、運営は、保育園や幼稚園にくらべると苦しいようでしたが、そのなかで色々な人に助けられて、続いているということでした。

子育ては、親が一人で抱えるのではなく、周りの協力を得るのが一番です。研修を通して、子どもは、地域が育てていくのだという実感を強く得ました。そして、「感謝の気持ちを忘れないで」という気持ちをお土産に帰ってきました。

屋久島は、地理的には、離島というハンディがあります。しかし、ハンディと思わないで、出来ること

から、皆さんと協力し合って、屋久島ならではの療育の場を作っていけたらと思います。どうぞよろしくお願い  
がいたします。  
(細

田敏子)

## 御 願 い !!

療育の場を運営して行く為に、行政からの補助金だけでは、赤字経営を覚悟しなければなりません。また開園に向けて、施設の設備や遊具などの整備費、準備に伴う人件費等の経費は、見積もれば相当額になります。受託される尾之間診療所にその全てを御願するわけには行きません。療育の場作りの基本は皆が知恵や力を合わせて作って行くところです。そこには我々の求める地域作り

療育の場作り募金をはじめます。寄付金も募ります。診療所に今ある部屋を療育室に改造致する労働ボランティア、本棚、くつ箱などの物品の寄付も受け付けます。

よろしく御願致します。

問い合わせは「じゃがいものうち」まで。

(楯)

# 行 事 報 告

活動 月日	参加数	活動名	内 容
2月16日	10	学習会	県の見相の田中先生を囲んで療育について
21日	28	じゃがいもほり	活動資金に充当のため
3月 3日	19	じゃがいもつめ	"
21日	23	スプリングキッズ	会員の卒業と進級を祝う会とグランドゴルフ
24・25日	260	映画会	アイラブ・フレンズ上映
4月 7日	22	タンカンシューズ	活動資金充当・有馬セス子さん指導
14日	17	ウコン堀り植つけ	活動資金充当と福祉への啓もう
28日	28	産業祭準備	活動資金充当のため
29日	35	産業祭出店	産業祭出店・じゃがころ・わたあめの準備
5月18日	18	エコフェスタ	会のPR・じゃがころとわたあめ他の販売
19日	31	"	(準備) "
		"	(出店) "
6月 9日	26	じゃがじゃが知恵袋	廃油石鹸作り・岩川美意子さん指導
23日	25	椅子作り	療育と法人化の話し合い 療育の為の椅子作り 療育と法人化の話し合い



通信の発行が遅くなり、活動報告も何となく、色あせたかんじですが、大勢の方々の、貴重な支援が集まり、半ばへこたれながらも、エネルギーな4ヶ月でした。参加された方、側面的な支援を頂いた方々、本当にありがとうございました。(四宮)



## 新入会員の方々の紹介



今号より、通信発行の時に掲載します。

じゃがいものおうち、多くの方々のお力添えで今まで活動を続けてきましたがこの度、多くの方々が会員となって参加して下さることになりました。

あまり無理をしないで、出来るときに、出来る人が、出来ることを！をモットーにして活動しています。活動日などはその都度、通信または電話や口コミでお知らせします。それ以外に日曜～木曜の午前10:00～午後4:00まで、無農薬有機栽培のコーヒー、紅茶、抹茶など喫茶部も営業していますので、近くへおいでの時や、お友達にも声をかけて頂いて、おいでください。わからないときは担当 四宮まで 7-2981

### 新会員名(敬称略)

#### 一般会員

- |          |            |          |          |
|----------|------------|----------|----------|
| 1. 藤山 倉作 | 2. 大原 貞子   | 3. 満園 洋子 | 4. 羽田 順子 |
| 5. 持原 道子 | 6. 小笠原のぞみ  | 7. 柴田 矢恵 | 8. 遊佐 良樹 |
| 9. 岡田 久美 | 10. 後藤田百合美 |          |          |

#### 賛助会員

- |          |           |           |          |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 乾 俊夫  | 2. 佐藤和佳菜  | 3. 清水 マリ子 | 4. 稲場 輝雄 |
| 5. 清水 明美 | 6. 小川 裕子  | 7. 張 明妃   | 8. 真辺 誠  |
| 9. 荒田 詣子 | 10. 木引 キヨ |           |          |

### 今後の予定

7月7日 じゃがじゃが知恵袋

10:00～16:00午前中、療育のいすの仕上げ、募金箱作り、部屋の掃除と模様替え、午後天気の時、1:30よりウコンの草取り、雨の時は”どんぐりのいえ”のビデオ学習。

当日は、弁当、お茶、天気の時農作業の出来る服装。

8月10～11日 キャンプ

今年は育成会や療育の会のメンバーにも呼びかける計画です。さらに、ボランティアの皆さんの支援をお願いします。栗生青少年キャンプ村、詳細は後日通信にてお知らせしますので、今から予定をとっておいてください。(四宮)